

2021 年度ジャイアンツカップ北信越 B ブロック代表決定戦試合規定

今大会は原則として当該年度の公認野球規則、および大会特別規定を適用して開催する。

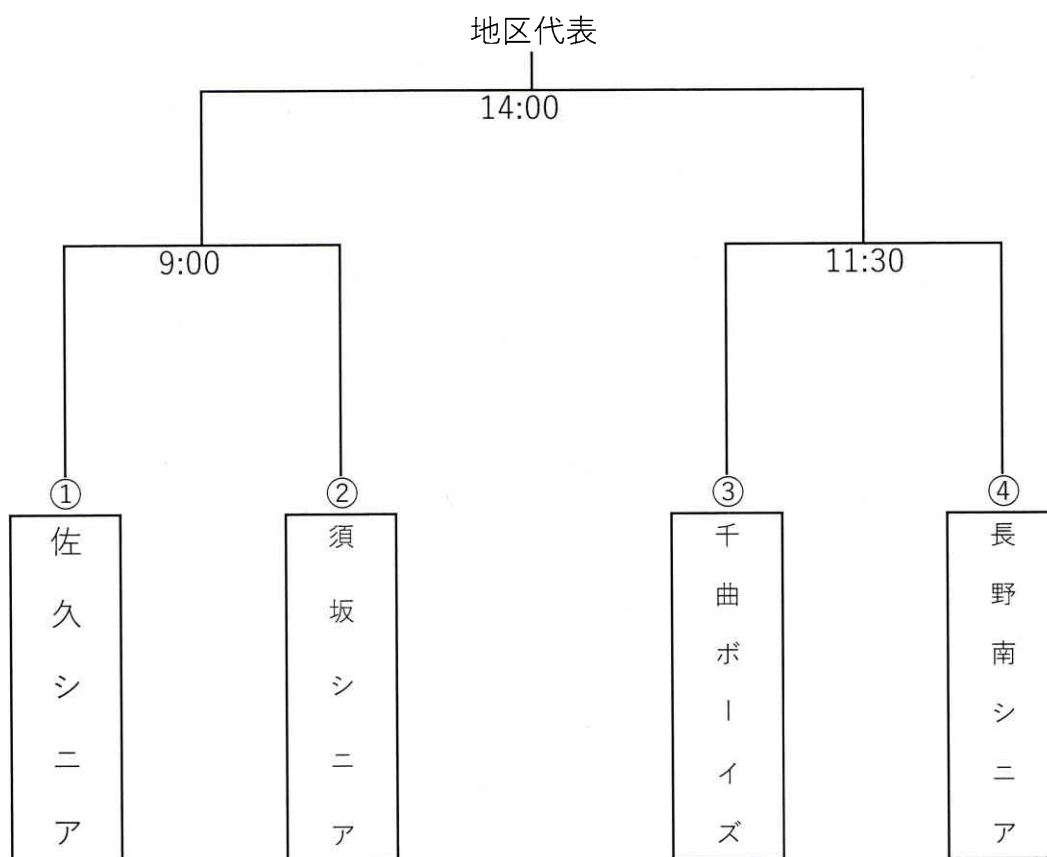
1. 各チームは原則としてその会場の前の試合の 4 回終了時（ただし 4 回時点でのコールドゲームが成立した場合は試合終了後。第 1 試合については試合開始 40 分前）までに所定のメンバー表を競技委員会に提出して審判員立会いの下で先攻・後攻を決める。また投手の投球回数申告用紙（各投手それぞれに前の試合までの投球回数を記入すること）も提出する。
2. 試合は原則として 7 回イニング制とし、4 回終了時点を持って成立試合とする。また試合成立後、雨天などやむをえない事情で試合続行が不可能になった場合は、両チームが攻撃の完了した均等回までの成績を対象とする。
- ③. コールドゲーム宣告の時点での引き分けの場合、打ち切り時点におけるメンバー 9 人ずつによる抽選で次の試合に進出するチームを決める。（注：SL の方法で実施する。）
4. また 4 回を満たさずに試合が中止となった場合にはサスペンデッドゲートとして、後日大会本部が指定した会場・日時で続きを行なう。
5. 得点差によるコールドは 4 回以降終了時 10 点差、5 回終了時以降 7 点差以上ついた場合に適用する（決勝戦は対象外）。代表決定戦は決勝とは考えないが、点差によるコールドゲームとはしない。（注：大会約款；4 回終了以降 10 点差でコールドゲーム）
6. 試合は 2 時間制限試合とし、4 回以降試合開始から 2 時間を超えては新しいイニングには入らず、制限時間に達した時点でのイニング（表裏）を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。（注：SL は 3 イニング⇒抽選、BL は勝敗が付くまで）
 - ・ タイブレーク方式は、1 アウト満塁の状態で開催する。この場合、前のイニングの打撃を完了した選手の次の打順の選手が最初の打者となり、走者は 1 塁から順に前のイニングの最後から数えて 3 人の打者が勤める。（怪我などその他の理由での代打と代走は認める）タイブレーク方式は、試合が決着するまで行なう。
 - ・ 投手のノーヒットノーランは認めるが、完全試合は認めない。またタイブレークにより出塁した 3 人の選手は自責点扱いしない。
 - ・ 打者はタイブレークにより出塁した 3 人の選手は出塁の記録は認めないが、盗塁（盗塁死を含む）、得点、残塁は記録する。
7. 投手の投球数制限について
 - ・ 1 日最大 80 球以内とし、連続する 2 日間で 120 球以内とする。連続する 2 日間で 80 球を超えた場合、3 日目は投球を禁止する。
 - ・ 3 連投（連続する 3 日間で 3 試合）する場合は、1 日の投球数を 40 球以内とする。4 連投（連続する 4 日間で 4 試合）は禁止する。
 - ・ 1 日 80 球投球後、翌日投球を休めば、3 日目は 80 球の投球を可とする。
 - ・ 上記 1～3 を基本原則とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は翌日以降の投球数にはカウントしない。

- ・ 連続する 2 日間で 80 球を超える投球をした投手、並びに 3 連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
 - ・ ボークは投球数としない。
 - ・ 雨などでノーゲームとなった試合は投球数にカウントする。
8. 打者（次の打者も）・走者は危険防止のため必ず両耳に安全ガードを付けたヘルメットを装着すること。捕手も防護ヘルメットや所定の防具を装着すること。
 9. 怪我などの理由により一時的に出場できない選手に対して「特別代走」を認める。この場合、その打者の最も近い打撃を終えた投手以外の選手を対象とする。(注：BL は投手、捕手を除く)
 10. 監督、コーチは 1 試合につきマウンドへ行けるのは 2 回まで。(投手交代の場合は回数に数えない) 3 度以上マウンドに行ったら、その時点の投手は自動的に交代しなければいけない。またタイブレークになった場合はそれ以前の回数に関係なく、3 インニングにつき 1 回だけ投手のところへ行くことは認める。(注：SL は 2 インニング 1 回、BL はタイブレークで 1 回)
 11. 守備側タイム・攻撃側タイムは 1 試合（7 インニング）につき 2 回とする。(注：BL は守備側タイムとして選手のみの場合と監督が行く場合含めて 2 回)
 12. 延長回に入ったら、守備側タイム・攻撃側タイムは 3 インニングに 1 回とする。
 13. グラウンド内でブルペンでの投球練習を行なうときは、必ず打撃監視員を置く。
 14. 試合前の用具チェックは、各団体の審判員が当たる。用具チェックの時期はベンチ入り後、アップ前に行なう。(注：BL は指定業者、SL は使用規定)
 15. 次打者は、必ずネクストバッターサークルに入る。待機する姿勢は各団体に任せる。(注：SL は見守る、BL は安全に留意して待機する)
 16. ネクストバッターの次打者の、ベンチ前での素振りは禁止する。(注：BL は試合中ベンチ横での素振りを 1 名認める。)
 17. 投手の 12 秒、20 秒ルールは適用しない。(注：SL は 2 塁審が計測、BL は計測しない)
 18. ベンチ前のキャッチボールは禁止する。
 19. ブルペンの使用については、バッテリーの投球練習か野手の送球練習を 1 組認める。(注：BL は投球練習、送球練習で 2 組まで認める)
 20. 第 1 試合 4 回終了後、次試合バッテリーの投球練習は禁止する。(注：SL は可、BL は不可)
 21. 試合の投球練習は、初回 7 球、2 回以降 3 球、投手交代時 5 球とする。
 22. 申告敬遠は行なう。
 23. サングラスの使用を認める。(用具チェック時に審判員が確認する。)(注：SL・BL ともミラーレンズ、ガラスレンズは禁止)
 24. スタンド内での保護者の応援方法については、各団体に任せる。(注：BL コロナ対応で大声での応援、メガホンを使用した応援は認めない)
 25. 選手のネックレス着用は認めない。(注：BL は指導者、選手とも外に見えなければ可)
 26. 走者の走塁用手袋の使用は認めない。(注：SL は不可、BL は現時点で規定がないが今後認める方向。)
 27. 手袋・リストバンド（アームリストバンドを含む）・リストガード・保護ガード等に関して市販されているものはす

べて認める。色は各団体に任せる。(注：BLは指定業者の製品であれば色の指定はない)

28. 親指用バットグリップ（詰まり防止パッド）の使用を禁止する。(BL:規定はない)
29. ボールボーイ、バットボーイ、シートノック補助員は登録選手 18 名から出す。
30. 4 回終了時、グラウンド整備を行なう。グラウンド整備の時間（10 分間）は試合時間から除く。（控え審判員がチェックする。）コーチボックスには、監督、コーチ、選手のいずれかが入る。必ずヘルメットを着用する。
（選手は両耳ヘルメットを着用）
31. その他、記載のない事項については、第 15 回ジャイアンツカップ大会約款を参照する。

第5回 ジャイアンツカップ 北信越Bブロック 長野地区大会



<参加チーム>

リトルシニア 3チーム

ボーイズ 1チーム

<球 場>

3日 (土) 松川村川西球場

4日 (日) 長野県営球場 (予備日)

<開催日>

令和 3年7月3日 (土)

予備日 7月4日 (日)